

れいわPRESS 第7号

木村英子議員を
水道橋博士が
インタビュー！ 後編

東京都議会議員選挙
都政を変えるために活動している、
れいわ新選組都政策委員
3人の意気込み！

れいわ新選組
所属議員、
魂の国会質問 (第4弾)

上村英明、天畠大輔、
船後靖彦、山本太郎

議員めし Vol.5
やはた愛



参議院議員 木村英子が語る

施設から地域へ

そして国会へ——（後編）——

インタビュー
水道橋博士

幼少期のほとんどを障害者施設と養護学校で過ごしてきた、木村英子議員。今回、改めてその半生をふりかえると共に、6年の議員生活の中で感じた気づきについて、インタビュアー・水道橋博士が深く掘り下げる（前後編の後編）。



すいどうばし・はかせ

1962年生まれ。漫才師、著述家、ブロガー、YouTuber、元参議院議員。2022年参議院選挙に立候補し3カ月後、鬱病により国会議員を辞任した、その姿を描いたドキュメンタリー映画『選挙と鬱』が6月28日公開。

国会で、介護者の拍手は認められない!?

博士 前編では、重度訪問介護では就労が認められてないというお話がありました。

木村 もちろん介護者を付けないで議員になっている方はいらっしゃるんですが、介護制度を利用して人はいけないうえ、でも介護者がいなかったら家からも出られません。厚労省と参議院と話し合っただけで、重度訪問介護で通ったかっただけで、認めてもらえませんでした。

博士 こういう現実って誰も知らないんじゃないですか？

木村 障害者関係者は知っていますけど、一般の方は多分、わからないと思います。

博士 東ね法案に、ずっと反対されてましたよね。僕が議員だったころ、みんなが議論している「東ね」ってなんだろうって思っていました。

木村 同じ重度訪問介護でもいろいろな制度をあわせて一緒に東ねて通そうとするんですが、その中には賛成の制度もあるけど反対の制度もいっぱいあるので……。

博士 5つくらいの制度を1つのものとして、法的な解釈の抜け穴をたくさんつくりながら法案を通そうとするってことですよね。それは当事者としては絶対に許せないとい

うことですよ。

木村 そうですね。死活問題なので反対するしかなく、要望書を持って官邸までいきまされたけど、受け取ってもらえなかったです。

博士 ひどいですね。だけど、最終的に議事堂の中に席をつくってもらったのは革命的じゃないですか。

木村 そうですね。だけど自分の党の人が登壇すると拍手をするじゃないですか。れいわの議員が立つとき、私は何もしないで代わりに介護者に拍手してもらったんですよ。そうしたら「止めてください！ 拍手しないでください！」って係の人が来て。「介護者の拍手は認められていません」って。

博士 何を拘り定規に言ってるんだって話ですよ。

木村 その後も何度も止められたりしましたけど、無視してやり続けてます。今はもう何も言われなくなりました。

博士 拍手って行為として日常の動作であり、普通のことですよ。

木村 なんで障害者だけは駄目なんですかって、そういうところからぶつかりますよね。

博士 根源的な質問が、差別される側にはあるんですよ。ただで差別してる側の視点には慮れない。相手の立場に立っていないから。

木村 そうなんです。

新幹線の子椅子席が2席から6席に!

博士 でも、国会議員の方は法律を通していく過程で、障害者の生活や制度について知らないことが多かったと思うんです。党を超えて人間として「なるほど」って思えることが多かったと思うんですよ。僕は、すごく木村議員の成果が出てるって感じました。

木村 自分の成果とは思ってなくて。今、私が議員になれて発言することで長い歴史の中の障害者団体などの運動が報われるというか。少しでも改善することができて、今まで運動をしてきた障害者の方たちの思いが伝わったっていう感じですね。

博士 理想に向けて、こういうふうな国会を使うんだ！っていうのもすばらしいことだと思えます。

木村 新幹線の子椅子席が2席から6席に増設されたことは本当にうれしかったです。これまで、新幹線の入りの口のデッキに乗ることが多かったけど、やっと車窓が見えるんです。

博士 社会は健常者ではない人たちがいらつしやるということ、新幹線に乗る度に視覚化できますよね。こういうふうに移動に便宜を図るべき



きむら・えいこ

1965年生まれ。養護学校を卒業後、19歳で地域での自立生活を始める。全国公的介護保障要求者組合の書記長などを務め、長年にわたり仲間と共に障害者運動を行う。

なんだというのが、見てわかりますから。
木村 そうですよ。障害者の方だけじゃなくて、高齢者のおじいちゃん、おばあちゃんが車いすで乗ってらっしゃると、やっぱり広がってよかったなど。

博士 映画は今車いす用の座席がたくさんできていますから。ちなみに映画は好きですか？
木村 映画はすごく好きです。映画館は今から20年くらい前にちよつと障害が重くなつて、行けなくなつたんですけれど。
博士 生涯ベスト映画は？
木村 『パッチ・アダムス』とかでしょうか。ロビン・ウィリアムズが好きなんですよね。自殺しちゃって悲しいですけども。
博士 僕も『ガープの世界』とか大好きです。好きな歌手

はいですか？
木村 今はいないですが、若いときはオフコースが好きでした。
博士 ライブ行かれたことあるんですか？
木村 ライブはないですね。米米CLUBと加藤登紀子、さだまさしのライブには行きました。
博士 世代が合いますよ！
今度一緒に見に行きましょうよ。今、小田和正さんが1人でやっていて、オフコースナンバーもやるらしいですよ。
木村 機会があつたらぜひ、お願いします。
博士 オフコース!! 行ってそれが言いたいだけ(笑)。でも本当に映画館で車いすの席がたくさんできてよかったと思います。
木村 ただ、一番前の席が多いので、首が痛くなつちやったり、スピーカーのそばなので耳も……。

博士 席がそこしか選択肢がないというのは大変ですよ。僕は常に一番後方の、必ず端を取るのです。
木村 1番前で3Dだったりしたら具合が悪くなりそうですね。そういうことも質疑に挙げたりしてます。
博士 東京に住んでみると映画も良い環境で観られるし、IMAXシアターなんて、超巨大スクリーンだし、美術館



もたくさんあつて、東京は世界中の都市の中で、最も優れた都市の一つだと思います。僕、東京に住んでるのに、自分が美術館や展覧会、LIVEやコンサートに行かないこと自体がもったいないと思うようになって、40歳越えてからですが、いろんな美術展の案内とかを全部見て、できるだけ行くようにしてるんですよ。
木村 18、19歳で施設の外出たときに、これまで健常者の人がやって

いることを体験したことがなかったのが、映画館に行つてはびっくり、ファミレスに行つてはびっくり、旅行に行つてはびっくり、何でもびっくりしてましたね。そういうのを1つひとつ増やしていますけど、まだまだ足りないです。きっと博士が体験された楽しいことの、何十分の一ぐらいしか楽しんでない

かもしれません。だけど今日、博士の人生とか環境とかを聞いて、また新しい知識を得られたなと思います。新しい人に会つたなっていう。
博士 いやいや。人生で初めてファミレスに行ったときはうれしかったですか？
木村 それが、周りから見られるので、恥ずかしくて顔も上げられず、店員さんにメニューすら頼めないくらい怖いですよ。健常者の人とあまり話したことがなかったの

まず障害の体を見られるっていうのが、若いころはすごい嫌でした。

博士 じゃあ、どんどん慣れていったんですか？

木村 そうですね。でも入店拒否はありますし、電車も乗車拒否はありましたし。その都度、けんかとか意見を書いて無理やり乗せてもらい、駅員が乗せてくれないときは周りの人に頼んで乗るといいう、そういうことを繰り返していい中で、徐々にメンタルが少しずつ強くなっていました。

万博の子どもトイレは施設を思い出す

博士 ちなみに（EXPO 2025 大阪・関西）万博はいかれるんですか？

木村 行かないです。メタンガスが爆発すると怖いですし、子ども用のトイレに仕切りがないというのは、施設のトイレを思い出しました。施設ではドアもなくカーテンだけなので。あと、夢洲の上に建っているの、なにか危険があれば大変ですよ。

博士 万博でさまざまなアートや、いわゆる技術の進歩を見せているアーティストには何も罪がないと思ってるんです。ただ、施策とか未来への構想がなく、地質とかそういうものに関する見識もなく、夢洲が空いてるからええやん

って選ぶようなことが僕は許せないですね。

木村 万博というものでなければ、普通にパビリオンは見たいですよ。

健常者の友達ができることが大きかった

博士 インクルーシブ教育を進めていききたいとおっしゃっていますけど、僕は言葉としては全然知らなかったんです。健常者と障害者、さまざまな形がありますけど一緒に同じ教室で教育を受けていく。

木村 そうですね。私は19歳まで、同い年の健常者の人としやべったことがあまりなくて、友達がいなかった。なので、社会経験を付けるときに、同い年の健常者の友達ができ、いろいろなことを教わりましたし、やっぱり小さいときから、健常者の人と一緒に過ごす環境というのは、ものすごく大事だなと思います。自分がいた施設の世界は狭いんだけど、施設の中が当たり前みたいな感覚になっていたので、外に出たときに社会って広いんだって初めて思いました。なん

でこんなに自動車が走っているのか、なんでこんなに人がいっぱいいるのかって、すごい驚きでした。今、助けたら、助けられたりするコミュニ

ケーションがすごく足りないんじゃないかなと思います。それは障害者問題だけじゃなくて、健常者の方にとっても、支えたり、支え合っているという世界があったほうが、より優しい社会になるんだろうなと思っていますから。なので、インクルーシブ教育は自分の政策として進めていきたいなと思います。

博士 世界は歴史と共に、らせん階段上に人権の意識が高まっていると思うんです。例えば、黒人に参政権はなかった、女性に参政権はなかった、という時代もあったわけ。インクルーシブ教育は国連の勧告があるんですよ。世界的な総意の中で、そういう教育を受けたいとお互いが支え合うことがわからないって

木村 国連はそう勧告しているんですけど、日本は受け入れられない。

博士 受け入れない理由がわからないです。

木村 日本って汚いものにはふたをするというか、障害者の場合だと、昔で言えば座敷ろうに入れたりして隠す文化なんです。自分の家庭に障害児が生まれた場合、最近では外に出していく親も増えましたが、私の時代は隠すのが当たり前でした。とにかく人に見せない、人に迷惑を掛けない、冠婚葬祭に出さないの

は当たり前。ほとんど人権がクローズアップされてきてはいいますが、今ピークが過ぎて、ちよつと悪くなってきたのかっていう感じはあります。

博士 反動的になりますからね。社会を変えていくことに対して、変えたくないっていう、表裏が返ってくる場合も大いにあるので。だけど、差別をする人の後ろめたさっていうのを、僕は指摘したいんですよ。「後ろめたくないか、おまえは？」って言いたい。

重度訪問介護を改善していきたい

博士 さて、今後はどういう活動をされていきますか？

木村 今後は重度訪問介護という制度が、就労だけじゃなくて、選挙活動もしちゃいけないという規定だったので、告示自体を変えていきたいです。



この間の予算委員会で総理にも質問して「選挙活動はいいですよ」みたいな許可は得ましたけど、通常の政治活動は駄目とか、選挙に立候補する人はいいけど、そうでない方は政治活動をしては駄目とか、区別するのもおかしいです。重度訪問介護を改善するため活動が続けていきたいです。**博士** ありがとうございました。今日は本当に感心しました。これからの活躍を期待しています。

東京都議会議員選挙

都政を変えるために活動している、
れいわ新選組都政策委員 3人の意気込み！

来たる東京都議選（6月13日告示、22日投開票）にむけて、れいわの3人の都政策委員に、
これまでの実績、意気込みを聞いた。



世田谷区 じんむら 浩平

「れいわ新選組、次は東京都の希望に」

私は下肢障がいになった経験をもとに、移動格差をなくすための製品開発・販売や普及活動に取り組んできました。障がいを持つ当事者として、また起業して12年の経験を重ねる中で、税の仕組みと、政府が国民のために働いていないことに失望し、一度日本で生きることを諦めましたが、その時、私の希望になってくれたのが山本太郎代表。次は、れいわ新選組が東京都の希望になれるようにと、世田谷区で活動しています。

じんむら・こうへい

16歳でバイク事故に遭い車椅子生活に。復学した後に職業訓練校での技能習得を経て企業に就職。22歳～車椅子バスケットボールをしながらアメリカの大学で3年間留学を経験。2013年～福祉器具の製造事業で起業。

杉並区 かいほ 保とくま

「生きててよかったと思える社会を！」

父をがんで亡くし、障がいを抱えた母とともに貧困の中で育ちました。奨学金という名の借金を800万円背負い、夢だったHondaに入社。ようやく暮らしが安定したとき、見えてきたのは、自分ではどうにもならない理由で貧困に陥る人たち、そして「自己責任」と切り捨てる社会の姿でした。私はそんな社会を変え、誰もが安心して生きられる社会を目指します。

かいほ・とくま

1995年生まれ30歳、東京都育ち。2014年～東京電機大学で電子機械工学を専攻。研究に没頭し大学院へ進学、国内外の学会で発表を行った。2020年、企業理念に感銘を受けHondaに入社、研究開発職に従事。本田技研労働組合の役員として職場環境の改善にも携わる。



練馬区 たぐち ゆり

「命に寄り添い 優しい社会へ」

私は東日本大震災による原発事故が発生した後に、妊娠、出産を経験する中で、放射能の危険性や、食の安全について考えるようになりました。一方で、看護師をしながら子育ての最中に乳癌になり、手術、抗癌剤治療を経験し、患者という弱い立場を経験。訪問看護では、様々な理由で適切な医療を受けられない人を目の当たりにしました。様々な問題を突き詰めて考えると政治が関係しています。ここ東京から政治を変えていきます。

たぐち・ゆり

1981年群馬県で生まれ育ち、21歳で上京。看護師を20年間（病院勤務14年、訪問看護6年）経験。夫と子ども2人（中2、小5）の4人暮らし。14年前から自然と緑が豊かな練馬区在住。

れいわの議員が多すぎて
誰がどんな質問をしているのか
チェックするのが大変! というあなたに——。

魂の国会質問

れいわ新選組
所属議員たちの

第4弾

3月17日から19日まで

2025年1月24日に開会した通常国会より、れいわ新選組に所属する議員たちが発言した注目の国会質疑を要約してピックアップ! 第4弾の今回は4項目の質疑を、写真と共に紹介します。

れいわ新選組代表、参議院議員 やま もと た ろう 山本太郎

2025年3月17日 参議院 予算委員会

1

南海トラフ巨大地震の危険性を挙げ、避難計画が不十分なまま
原発を再稼働する政府の姿勢を厳しく追及。
特に、住民避難を担うバス運転手が、高い被ばくリスクを負う問題を棚上げしたまま
了承されている避難計画について、「現実的な計画とは言えない」と指摘、
実効性のない計画では命を守れないと批判しました。
「実効性の無いまま承認された避難計画」は取り消して作り直すことを求めると、
石破首相は「それが制度の趣旨だ」と踏み込んで理解を示しました。



いつ大きな地震があるかもしれない、
原発事故があるかもしれない。
委員長、避難計画に関するこれまでの非公開
会議の記録で未開示のもの、音声記録など、
黒塗りなしでの提出、おはかりください。

やまもと・たろう

1974年兵庫県宝塚市出身。れいわ新選組
代表。2019年4月、独自で「れいわ新選組」
を旗あげ。草の根による国政政党設立への
チャレンジを始める。

動画はこちら



参議院議員 天畠大輔

2025年3月18日 参議院 予算委員会

1日24時間の公的介護給付を自治体に命じた
「松戸ALS裁判」の担当弁護士・藤岡毅さんを招き、
自治体はなぜ同居家族による介助を前提にした時間分しかサービス支給しないのか？
その根幹にある「国庫負担基準」という制度の問題点を明らかにしました。
政府は「財源に限りがある」と言いますが、命と権利に関わることには支出すべき、
国庫負担基準はなくすべきと訴えました。



国庫負担基準は
障がい者の地域生活を
妨害しています

てんばた・だいすけ

1981年生まれ。14歳の時、医療ミスにより、四肢麻痺・視覚障がい・嚥下障がい・発話障がいを負い、重度の障がい者となり車椅子生活を余儀なくされる。2020年に一般社団法人わをんを立ち上げ、重度障がい当事者の支援活動を開始。



動画はこちら

衆議院議員 上村英明

2025年3月18日 衆議院 本会議

本会議初登壇！ 能動的サイバー防御法案（重要電子計算機に対する不正な行為による被害の防止に関する法律案、並びに同整備法案）は、警察だけでなく自衛隊も行う、安保三文書とも関連した、いわば「敵基地攻撃能力のサイバー版」ともいうべき内容になっており、大幅な見直しが不可欠と考えます。

以下の4点を強く訴えました。

- 1 能動的サイバー防御に該当するアクセス・無害化が主権侵害とみなされる危険性が極めて高い。
- 2 憲法第21条が保障する、この通信の秘密を守る規定が不十分。
- 3 サイバー通信情報管理委員会の実効性、独立性に疑問。
- 4 能動的サイバー防御の前に中小企業の情報セキュリティなどやるべき課題が山積み。

アクセス無害化は国境を越えた
サイバー攻撃とみなされる
危険性があると認識すべきでは
ありませんか？



うえむら・ひであき

1956年熊本県出身。アイヌ民族や琉球民族の先住民族としての国連活動を支援。社団法人新時代アジアピースアカデミー共同代表、人権NGO市民外交センター共同代表



動画はこちら

参議院議員 船後靖彦

2025年3月19日 参議院 予算委員会

予算案の審議が佳境を迎える中、予算委員会の質疑に臨みました。
「子育て政策の財源確保のため、命に直結する医療、
介護を削るとは本末転倒。亡国、棄民の政策だ」と指摘。
石破総理が「本末転倒とは考えてない」と応じると、
文字盤で「子育て世代と高齢者世代の対立を煽るのはやめるべき」と主張。
「子育て支援の財源を社会保障の中から捻出する財務省の論理ではなく、
国債発行で社会保障を支える決断を」と訴えました。

総理、子育て支援の財源を同じ社会保障の枠内
から捻出するという財務省の論理ではなく、
国民の健康と暮らしを守るため、まずは国債
発行で社会保障を支えることを御決断ください。

ふなご・やすひこ

1957年生まれ。2019年にれいわ新選組
から「特定枠」候補として立候補し、初当
選。重度障害のある人工呼吸器装着ALS患
者として史上初の国会議員となる。詩歌や
童話などの創作活動も行っている。



動画はこちら



れいわ新選組議員の推しグルメを紹介！

議員めし

腹が、
減った…

Vol.5 やはた愛
笑いと おにぎり



知る人ぞ知る！国会のおにぎり屋さん「笑いと」
私の推しはいくら。所属する農水委員会と厚労委員
会の開催が被ることも多く、お昼休憩が10分ほど
の時は、おにぎりは手軽で何より美味しい！余裕の
ある日は自宅から季節の野菜を中心に手造りおかず
を持参。議員室にはふりかけなどのお供も常備し、
おにぎりをさらにアレンジしながら食べるのが欲張
りな八幡式。日本の農家さんとお米を守るために今
日もしっかりと質問します！よいし！



れいわ新選組
HPはこちら



れいわオーナーズ
ご案内はこちら

あなたが、れいわ新選組のオーナーになりませんか？



ご寄附の受付

れいわ新選組は、皆さまからの寄附をお願いしてしま
す。頂きましたご寄附は、れいわ新選組が取り組んでい
る政治活動、事務所運営費等に活用させていただきます。

れいわPRESS 第7号



発行・れいわ新選組 れいわPress編集部
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-5-20 押田ビル4階
TEL:03-6384-1974